

～賃貸マンションにおける空間創出プロジェクト「Roomot（ルーモット）」～

住まいに、もっとスペースを。自分らしく生活する新しい選択

第2弾として「Roomot Shower」を開発

第1弾「Roomot MIXINK」と共に「ザ・パークハビオ 亀戸」に導入

三菱地所レジデンス株式会社（以下、「三菱地所レジデンス」）は、三菱地所レジデンスの賃貸マンション「ザ・パークハビオ」において、住宅設備機能の見直しを中心とした空間創出プロジェクトを進めており、2021年6月には、洗面化粧台にキッチンを合体させたこれまでにない水回り住設機器「MIXINK（ミキシंक）※1」を発表しました。その後も賃貸マンションの限られた生活スペースにおける「自分らしい暮らし」を追求してまいりましたが、この度、この空間創出プロジェクトを「Roomot（ルーモット）」（現在商標登録出願中）と命名し、アイテムをシリーズ化して展開することとなりました。

今回、「Roomot」第2弾のアイテムとして、浴槽をなくしその分の生活スペースを創出できる、全面タイル張りのシャワーユニット「Roomot Shower」（日ポリ化工製）を開発しました。

「Roomot Shower」は江東区大島3丁目に本日着工した賃貸マンション「ザ・パークハビオ 亀戸」に導入予定で、「MIXINK」と併せて採用することで、より大きな空間創出を図ります。自分のライフスタイルにあわせて「Roomot」のアイテムを選択し、その分創出されたスペースをより自分らしく活用できる新しい暮らしを提案いたします。



▲「Roomot」プランイメージ

【「ザ・パークハビオ 亀戸」で提案する「Roomot」プランの特徴】

- (1) インテリア性の高いシャワーユニット「Roomot Shower」を導入
- (2) 「Roomot Shower」と「Roomot MIXINK」により創出されたスペースを活かす家具付きプランを提案
- (3) 住むことがSDGs貢献につながる環境価値

三菱地所レジデンスは今後とも、時代の変化と共に多様化するライフスタイルと向き合い「Roomot」プランにおけるアイテム開発を進め、新たな間取り開発への挑戦を続けてまいります。

■「ザ・パークハビオ 亀戸」で提案する「Roomot」プランの特徴

【インテリア性の高いシャワーユニット「Roomot Shower」を導入】

<「Roomot Shower」とは>

浴槽をあまり使わないライフスタイルのお客様に向けて、全面タイル張りのシャワーユニット「Roomot Shower」を導入することで、浴槽がなくなった分の生活スペースを自分らしく活用できる暮らしを提案いたします。

シャワーユニット「Roomot Shower」は、扉が透明ガラスで、内装は全面タイル張りとなっており、オーバーヘッドシャワーを設置したホテルライクな仕様です。

一般的に賃貸マンションにおけるシャワーユニットは、限られた専有スペースの中で、ユニットバスの代用として消極的に導入されることがありますが、「Roomot Shower」はインテリア性の観点からも、積極的に採用されることを目指します。

<「Roomot」プランとは>

「Roomot」とは、三菱地所レジデンスの賃貸マンションにおける、住宅設備機能の見直しを中心とした空間創出プロジェクトです。ライフスタイルが多様化する中、今まで誰にでも必要不可欠と考えられていた住宅設備の機能に優先順位をつけることで、より自由に活用いただけるスペースを作り出します。

「Roomot」アイテムの導入によって、自分らしい理想のライフスタイルの実現をサポートいたします。今後も、新しいアイテムの開発を進め、より大きな空間創出を図りつつ、将来的には、ホテル、SOHO、新築分譲マンション、リノベーション物件といったアセットへの展開についても検討を進めてまいります。

Roomot

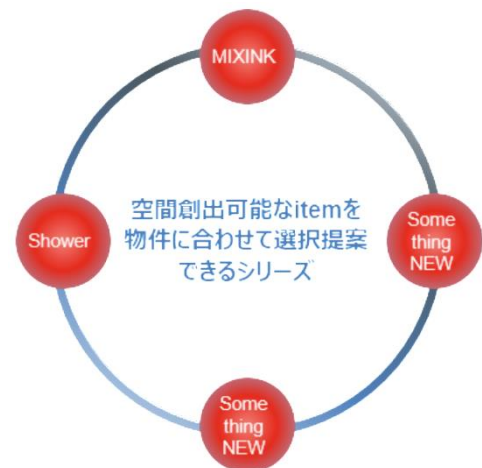
Room+ “もつと” の造語。

“居室にもつとスペースを” のメッセージを込めたネーミング。

空間創出の概念をカジュアルな和文を含めて表現し、親しみやすいキャッチーな響きを狙った。

「Roomot」プランは、ライフスタイルにあわせて「Roomot」のアイテムを選択し、組み合わせることで、自由に使える生活空間を拡大できる仕組みです。「Roomot MIXINK」はキッチン機能を最小限にしたもの、「Roomot Shower」は浴槽を無くしたのですが、その選択が自分のライフスタイルに合致していれば、好みに合わせて活用できるスペースが創出されることの方が、より大きな価値となるかもしれません。

今後も順次追加される「Roomot」のアイテムを自由に組み合わせることで、入居者のライフスタイルにあった自分らしい住まいや「この部屋に住んでみたい」と思える新たな暮らしを提案してまいります。

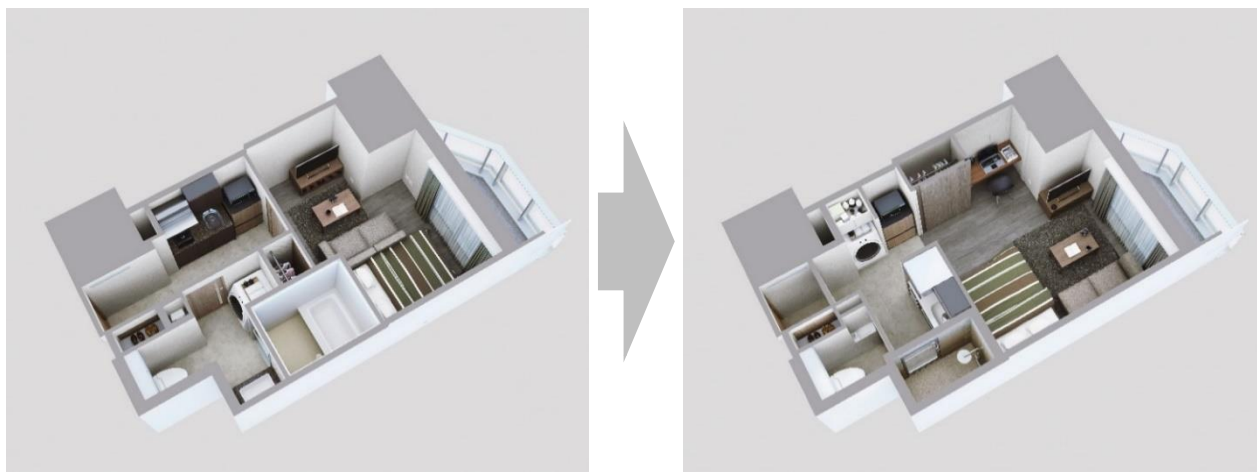


<「ザ・パークハビオ 亀戸」における「Roomot」プランについて>

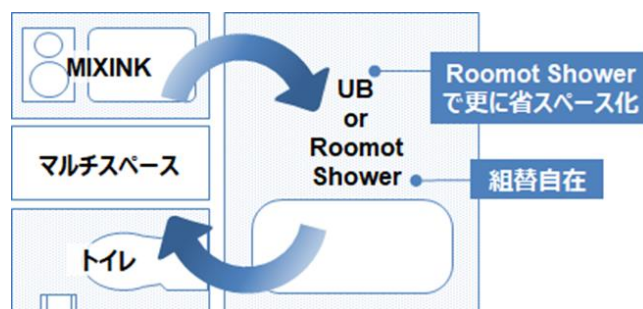
「ザ・パークハビオ 亀戸」では、「Roomot MIXINK」と「Roomot Shower」の2つのアイテムをあわせて採用することで、都内の賃貸マンションでありながら、より大きな居住スペースの創出を図っています。「ザ・パークハビオ 亀戸」は、都心へのアクセスが良く、駅前に飲食店も充実しているため、主に単身者や転勤者のニーズが見込まれています。外食やテイクアウト等を効率的に取り入れながら、通勤と在宅勤務を両立する忙しいビジネスマンや、オンとオフを区別し、住まいのインテリアにこだわりたいお客様向けに「Roomot」プランを提案いたします。

「Roomot」アイテム導入による間取りの変化

- ・「Roomot MIXINK」と「Roomot Shower」の導入で、居室が7.0畳から9.3畳に拡大。
(約33%の拡大)
- ・生活空間が2.3畳拡大されたことにより、居室内にワークスペース（デスク、椅子、書類棚）やダブルベッドなどの大型家具を設置できる空間に加え、更なる収納スペースを創出。



また「Roomot MIXINK」、「Roomot Shower」、トイレ等の水回り設備を「コの字」に配置し、囲まれた中央部分を「マルチスペース」とする、「Roomot」アイテムを活用した特有の水回りユニットを併せて提案いたします。洗面化粧台とキッチンが兼用されたことで「洗面室」がなくなり、「キッチンスペース」と融合することでシームレスな空間となりました。これにより水回りを「大きな一つのユニット」と捉えることができるようになり、よりコンパクトでありながら、生活スペースとのゾーニングにも成功いたしました。この「マルチスペース」は、朝の時間を惜しむ忙しいビジネスマンが、身支度を整えながらコーヒーのお湯を沸かすなど、短い動線でマルチに使えるスペースです。生活スペースとの視線もさえぎられるため、生活にメリハリをつけ「身支度のスペース」として活用できる空間になります。



※マグネット小物等の設置位置は、管轄の所轄消防により判断が異なることがあります。

【「Roomot」アイテムにより創出されたスペースを活かした家具付きプランを提案】

「ザ・パークハビオ 亀戸」ではさらに、「Roomot MIXINK」、「Roomot Shower」の導入により創出された2.3畳の生活スペースを最大限に活用するため、ヨーロッパを中心とした家具・インテリア小物等の輸入・販売を手掛ける「ACTUS」に協力頂き住戸内のインテリアを提案いたしました。

「ザ・パークハビオ 亀戸」では「ACTUS」がセレクトした家具付きの住戸（2部屋）を用意しております。該当住戸の居住スペースには、作り付けのベッドヘッド、ソファベンチ、書斎スペース、クローゼットやそれらの家具を彩る小物を採用し、いつか住んでみたいと思うホテルライクな住まいを提案いたします。



▶「ザ・パークハビオ 亀戸」における「Roomot」プランイメージ

【住むことがSDGs 貢献につながる環境価値】

三菱地所グループは長期経営計画 2030「三菱地所グループの Sustainable Development Goals 2030」を策定、重要テーマの一つとして「Environment」を掲げ、2030年までにCO₂排出量を2017年度比で35%削減することを目標としています。三菱地所レジデンスでは、この目標に向けた活動をさらに加速するため、社員一人ひとりができることから取り組む「イッポガブラボー」プロジェクトを始動させています。

「ザ・パークハビオ 亀戸」は、「Roomot」アイテムの導入により、本物件に住むことで入居者もCO₂削減に取り組むことができる物件となっています。「Roomot MIXINK」においては、「キッチン」という住宅設備を作る必要がなくなることにより、建設時に一戸当たり246.3kgのCO₂削減を実現できる見込みです。また「Roomot Shower」は、浴槽を設置しないため、浴槽があるユニットバスと比べると年間の使用水量減により13.4kgのCO₂/年削減、使用ガス量減により年間16.5kgのCO₂/年削減ができる見込みです。（CO₂削減量は当社調べ）

「ザ・パークハビオ」はこれまでもZEH-M取得や太陽光発電パネル設置等、CO₂排出量削減に積極的に取り組んでいますが、共用部だけでなく、専有部においても環境配慮の観点を絡めた新しい暮らし方を提案いたします。お住まいになるお客様が、自分に必要な住宅設備・機能を選びとるライフスタイルは、SDGs達成への貢献にもつながると考えます。

■「ザ・パークハビオ 亀戸」(第1号導入物件) 物件概要

所在地：東京都江東区大島3丁目60-4、60-11(地番)
交通：JR中央・総武線、東武亀戸線「亀戸」駅 徒歩8分
都営新宿線「西大島」駅 徒歩6分
総戸数：52戸
構造・規模：RC造地上14階建
敷地面積：実測324.33㎡
延床面積：2,037.76㎡
用途地域：商業地域
間取り：1R～1LDK
専有面積：25.24㎡～35.47㎡
着工日：2022年1月11日
引渡予定：2023年9月30日(予定)
建築主：三菱地所レジデンス株式会社
設計・監理：株式会社現代総合設計
施工：TSUCHIYA 株式会社



▲現地案内図

©OpenStreetMap contributors

▲「ザ・パークハビオ 亀戸」外観イメージ

※1 「Roomot MIXINK」について

「Roomot MIXINK」は、洗面化粧台とキッチンを1つにまとめた新しい水回り住設機器です(現在商標登録出願中)。洗面や簡単な調理に利用できるように、流し台、鏡、IHコンロやレンジフード、各種収納を備えています。また、周囲をホーローパネルで仕上げ、お住まいになる方がマグネット小物等でカスタマイズを楽しめる仕様にいたしました。「Roomot MIXINK」の導入により、ワークスペースの創出や、TVボードの隣に+αの家具配置が可能になるなど、生活空間の創出を実現いたします。

プレスリリース：https://www.mec-r.com/news/2021/2021_0614.pdf

<参考>「ザ・パークハビオ」について

The Parkhabio は、三菱地所レジデンスの賃貸マンションブランドです。

habio は英語「habitat (住まい)」とイタリア語「io (私の)」の造語で、分譲マンションブランド「The Parkhouse」で培ったノウハウを十分に活かし、多くの皆さまから「私の住まい」として選ばれています。



シンボルマークは、「H」をモチーフとしたフレームで構成した面と空間であり、住む方にとって、安心で安全な住まいであることを表現しています。



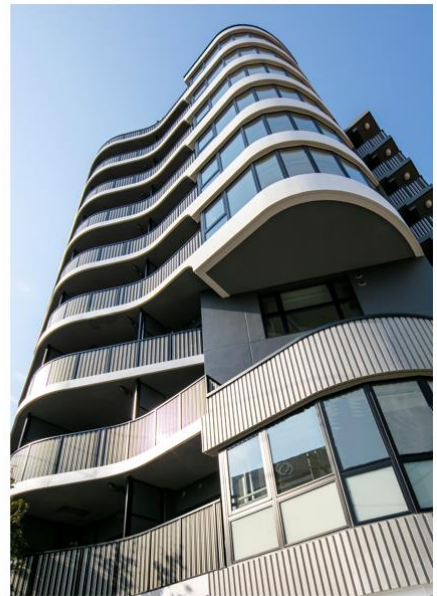
ザ・パークハビオ 西大井



ザ・パークハビオ 住吉



ザ・パークハビオ 早稲田



ザ・パークハビオ 神楽坂



ザ・パークハビオ 巣鴨



ザ・パークハビオ 恵比寿プレイス



ザ・パークハビオ 木場

以上